

# デコバルーンコラムタワーキットのお取り扱い説明書

この度は『デコバルーンコラムタワーキット』をお求めいただきまして誠にありがとうございます。  
正しい手順に基づき注意事項をご考慮の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

## はじめに

当製品をご利用になる前に以下の点につきご了承下さい。

- 設置するバルーンは、特殊配合した塩化ビニールの原料の”デコバルーン”を使用します。  
ゴム風船に比べとても丈夫です。  
また、非常に伸びる生地ですので、まん丸になるまで膨らます事ができます。
- 屋内・屋外共にご利用いただけますが、屋内に比べ屋外設置時の方がバルーンの劣化は早くなりますのでご了承下さい。(降雨時ではさらに劣化が進みます)
- 屋外設置の強風時においては、転倒の恐れがあり大変危険です。  
その際は、速やかに片付けてください。
- 万一、空気もれなどの不良品が発生した場合は、予備バルーンより取替えを行ってください。  
予備バルーンを超える枚数が発生した場合は良品と交換させていただきます。
- 不可抗力による転倒にはくれぐれもご注意下さい。ケガや事故の原因となり危険です。  
尚、不可抗力によるバルーンの破損、事故に関する責務は当社にて負いかねますのでご了承下さい。
- 水重りのベーススタンドを移動させる場合は、引きずらないで持ち上げてから移動して下さい。  
引きずると破損して水漏れの要因となります。

## メンテナンス作業について

### ●しぼんだバルーンを取り替えます

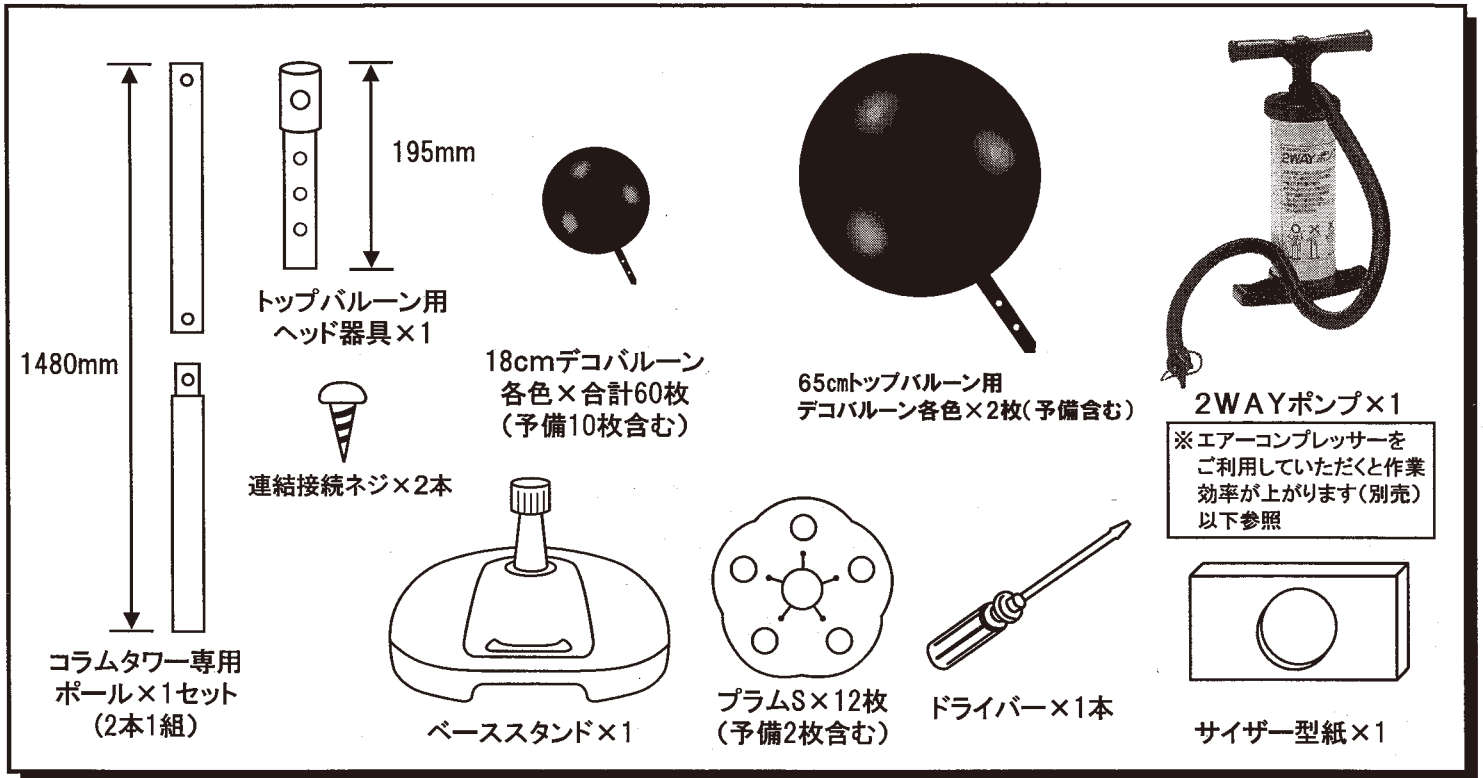
先に述べたとおり、デコバルーンは丈夫なバルーンですが、バルーンという性質上やがてしぼんできます。  
その際には注入口より再度エアーを入れてください。再度注入する事で再び膨らむケースがあります。  
それでもしぼんでしまう時には、予備バルーンの残りにまだ余裕があれば、その中から取替えを行ってください。

取替え方は、しぼんだバルーンをプラムから取り外し、新しいバルーンに取り替えます。  
設営状態のまま取替えが可能であれば、そのまま作業して下さい。  
しぼんだ場所により、作業がしにくい場合はフレームを取り外してから取替え作業を行ってください。  
しぼむ時期・箇所などは設営場所や、状況により異なりますのでご了承下さい。  
メンテナンス作業を行うことにより、より長くの設営期間を保つ事ができます。

予備バルーンがなくなり、さらに継続して設営されたい場合は、バルーン単品販売も行っておりますので  
別途追加ご注文下さい。

詳しくは各販売店までお問い合わせ下さい。

# 《キット内容》

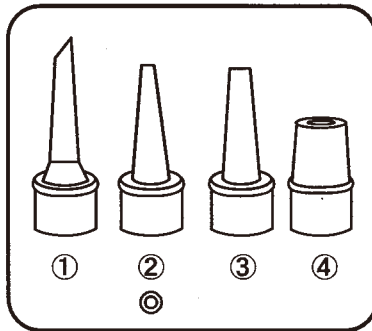


## デコバルーンの膨らませ方

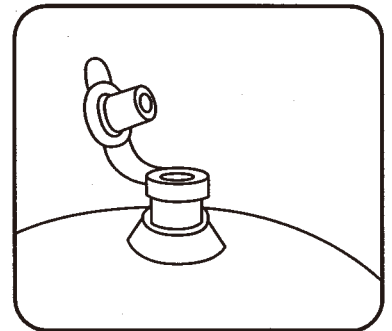
デコバルーンを膨らませるには、キット内の『2WAYポンプ』を利用します。



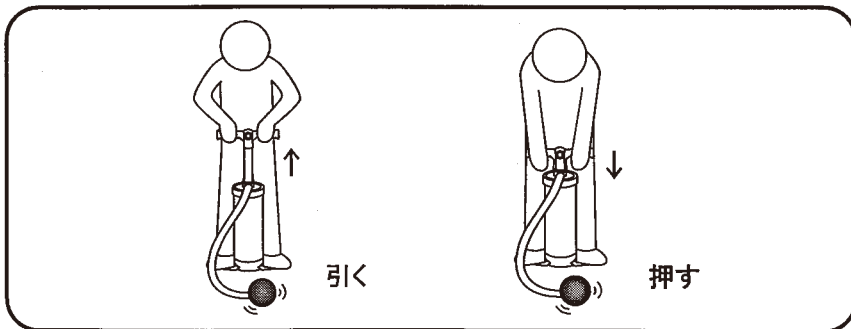
2WAYポンプ



膨らませる注入口のアタッチメントは  
全部で4種類ありますが、②番の  
タイプが口元にはまり1番効率よく膨らみます。



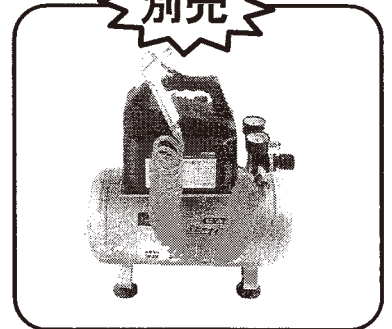
デコバルーンの注入口はビーチボールの  
ようなバルブになっています。



引く

押す

**別売**



エアコンプレッサー

図のように自転車のタイヤへ空気を入れる要領で膨らませます。  
押しても引いても膨らむ2WAY注入式です。  
適正サイズへ膨らませるのに約5回程度。

膨らませる為にはある程度の圧力が必要となる  
デコバルーンは、別売のエアコンプレッサーを  
利用すれば作業が楽で効率も上がります。  
※別途各販売店へお問い合わせ下さい。

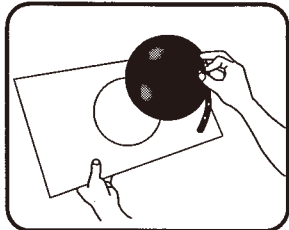
# 適切なサイズに膨らませる事が大事

バルーンの必要量は全部でおよそ50個になりますが、全てのサイズをそろえる事がとても大切となります。

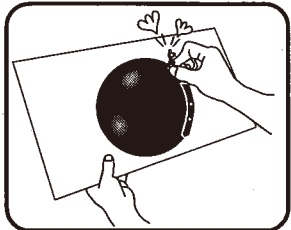


サイザー型紙

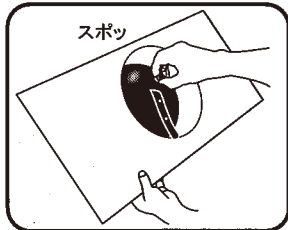
バルーンのサイズをそろえるためには、キット内付属品の"サイザー型紙"を利用します。サイズを測るのにとっても重要なアイテムとなりますので、大切に扱しましょう。



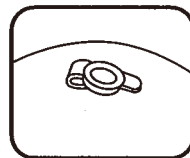
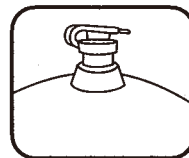
適切なサイズへ膨らませた後、バルーンをサイザーの穴へ押しあてます。(サイザー型紙の大きさよりも少し大きく膨らませます)



この時点ではサイザーの穴に対してバルーンの方が大きいので、注入口をつまみながらエア抜きます。サイザーの穴へ抜けるまで押しあてます。



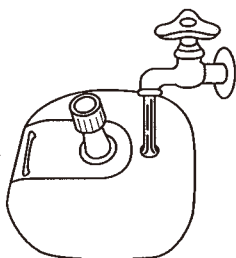
サイザー穴に通ったこのサイズが適切なサイズとなります。



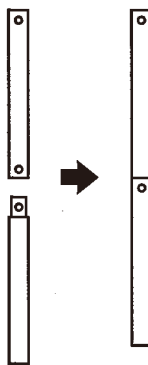
最後の措置として注入口のバルブを閉めた後、押し込む作業を必ず行ってください。この作業をしないとエアもれの原因となります。

## 作業にとりかかります

### ●フレームを組み立てます

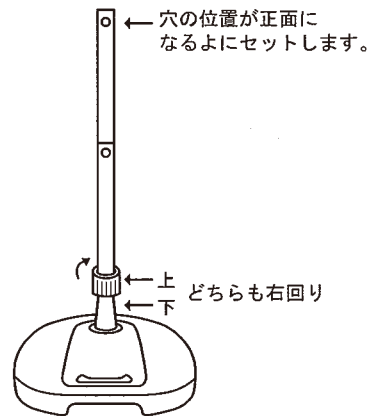


ベーススタンドへ水をいっぱいになるまで入れます。(満水時19kg)



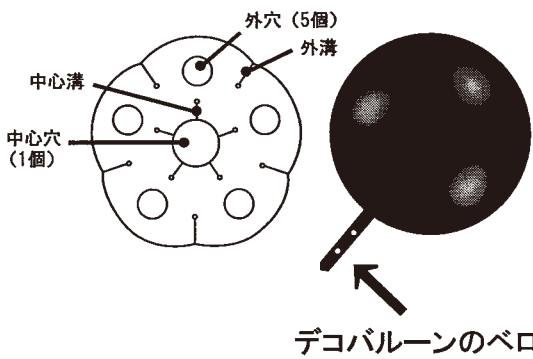
注) 上下穴の位置が異なりますので逆さまにならないようにとりつけて下さい。

コラムタワー専用ポールを組立てます。(ねじ止め要)



ポールをベースへ差し込みます。ベース差込口の上と下両方ともしっかりと締めつけます。

### ●プラムにバルーンを1個ずつ取りつけます



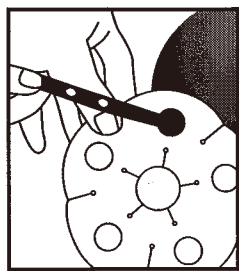
デコバルーンのペロ

### カラーバリエーションのご案内

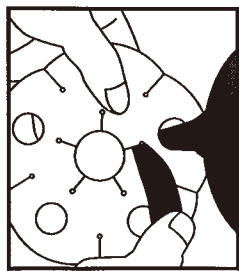
カラーの種類は全5種 各タイプによりプラムに取りつけるカラーパターンは異なります。

以下の組み合わせで組んでいただくと、バランスの良いカラーが出来上がります。是非ともご参照下さい。

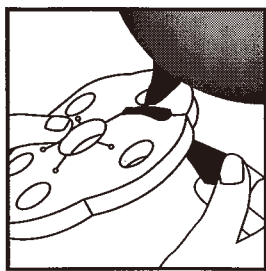
(スタンダード)	(シトラス)	(マリンブルー)	(ラブピンク)	(紅白)
5個とも違うカラー×各1個	黄緑と黄色×各2個 薄緑×1個	水色と濃青×各2個 白×1個	ピンクと赤×各2個 赤紫×1個	赤と白の組み合わせを交互に組みます



プラムの外側に5個ある穴の1つへデコバルーンのペロを通します。



さらに中心穴へ通した後に中心溝へ引っ掛けます。



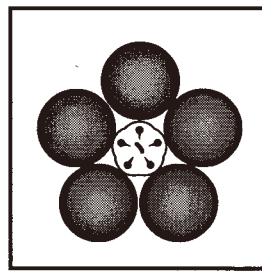
最後に外溝へ引っ掛けます。この時にペロを横方向にしながら入れるとやり易いです。

### ※注意!



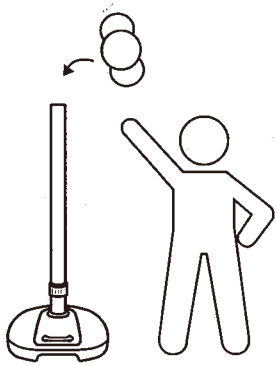
中心溝に引き込む際に、あまり力を強く入れすぎますと、溝がちぎれる原因となりますのでご注意ください。

### 1つのプラムが完成

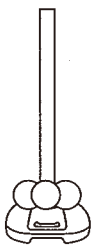
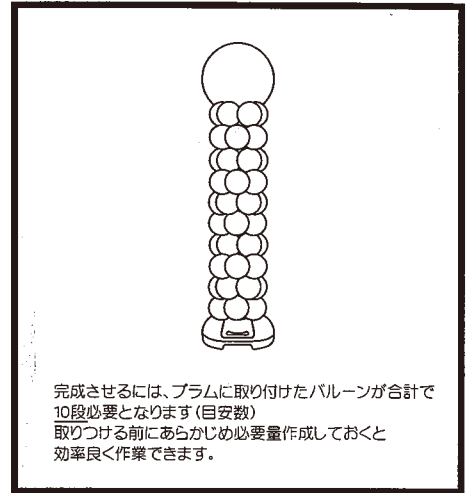


残りの外側の穴へも同じ要領で取り付けしていきます

●ポールへ、プラムに取り付けたバルーンを設営していきます。

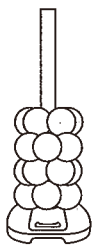


プラムに取り付けたバルーンをポールへ通していきます。

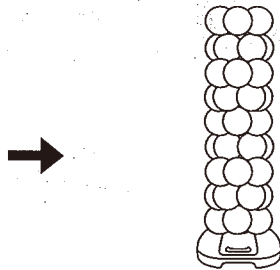


\* 1段目が入りました

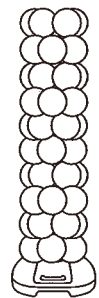
同じ要領でどんどん通していくだけです。  
図のようにバルーンとバルーンの間にくるよう  
に重ねていきます。



\* 4段目まで入りました



9段目まで入れるとポールが  
見えない状態になります。



さらにその上へ10段目をのせます。  
(ポールには通りませるので、  
積み上げる状態になります)

トップバルーン用の65cm  
デコバルーンを膨らませます。  
(かなり大きいサイズなので  
たくさん空気を入れる必要が  
あります)

**トップバルーンを膨らませる注意点**

横から見た図

図のようにシワが  
10cm程度残るまで膨ら  
ませます。  
これ以上空気を注入  
しますと、破損の要因  
となります。

トップバルーン用ヘッド器具へ膨らませた  
65cmデコバルーンを取り付けます

まず器具中央の穴へデコバルーンの  
ベロを通します。

図のように両サイドの  
切り込みへ入れ込みます。

両サイドの切り込み  
横の切り込み

さらに横の切り込みまでベロを  
入れ込むと固定されます。

ジョイントして完成です。

トップバルーンの方へ  
1段分のバルーンを  
持ってきても良いです。

トップバルーンが  
ぐらついてきたら  
②・③の位置へ  
移動して取り付けます。

最初の取り付け位置は  
①もしくは②へ  
取り付けます。

**トップバルーン取り付け時の注意事項**

トップバルーン器具には  
高さ調整が3段階できます。  
(ねじ止め要)

高さ調整が  
3段階  
可能です

**完成!**

高さ  
2250mm

横幅  
490mm